

市長と市民の車座会議 ざっくばらん

【令和元年度(平成31年度)市政懇談会】のまとめ

【問合せ】秘書広報課 秘書広報班 ☎773-6658

令和元年度(平成31年度)の市政懇談会は、4月22日(月)～6月27日(木)に市内14会場で開催し、243人に参加いただきました。

市政懇談会では、市長による市政全般の説明と意見交換を行いました。今年子どもと一緒に参加できる会場を用意したり、昨年に引き続き日中の開催を行いました。

各会場でいただいた意見や質問の中から、いくつかを要約してご紹介します。この他にいただいた質問や意見は、今後の市政に反映していきます。

参加いただき、ありがとうございました。



保健・医療・福祉

- Q** 病院の医師は不足しているのか。医師を増やすことはできないか。
- A** 医師は不足しています。現在、勤務している医師の献身的な働きで病院は支えられています。今後は、本年度から配置した医療政策特別顧問などの専門家と連携して医療などの政策協議を図る中で、医師の確保にも努めていきます。
- Q** 介護士などが少なく、自宅で介護するしかない。教育して資格を取れる仕組みをつくらないと、いずれは世話をする人がいなくなる。
- A** 市では、平成30年度から介護人材の確保と介護職員の資質向上を支援するために、研修受講料を補助する介護人材確保緊急支援事業を開始しました。県でも介護人材確保のために、さまざまな事業を実施しています。

教育・文化

- Q** 学校の統合で小さな学校から大きな学校になり、学校に行きたくなくなるということはないか。不登校の子が通う教室があまりきれいではないとか、支援者と相性が合わないなどの声を聞いたがどうか。
- A** 現在、統合によって不登校になったという事例は報告されていません。小規模校や複数学級にはそれぞれの特徴があり、学校統合によるメリットもあると考えています。不登校については、市ではスクールソーシャルワーカーを配置しているほか、子ども・若者育成支援センターでも対応しています。センターは老朽化が進んでおり、現在移転を検討しています。支援体制を含め、相談者が相談しやすい環境づくりに努めていきます。

環境共生

- Q** 新ごみ処理施設の進捗状況は？
- A** 平成30年に、周辺行政区への説明会や、他市の視察などを行いました。しかし、まだ周辺の住民の同意を得られていません。現在の施設は老朽化が進み、毎年多大な維持費や修繕費がかかっています。これ以上先延ばしにすることはできないため、本年度中には結論を出したいと考えています。今後も地域住民の声を聞き、理解を得られるように努めていきます。

都市基盤

- Q** 市に転入してきた人が、水道料金が高いと言っていた。県内でも上位と聞いている。人口も減少していくなかで、今後の見通しはどうなっているか。